

住民説明会③ 平尾中学校校区

日時：令和 6 年 5 月 20 日（月）

開始：19：00 終了：21：55

場所：平尾ふれあいセンター

参加者：60 人

- 町の施設が新しく造られているが、町民のための施設だから、中学生優先で使用する話にはならないと思う。現状の利用状況と照らし合わせながら検討する必要があるのではないか。部活動と各種団体の利用が重なった時の調整は難しいと思う。

答 現在町には、多目的運動広場（鷹巣）、川床コミュニティ運動場、城川内運動広場の 3 つのグラウンドと町民体育館（鷹巣）、B & G 体育館（指江）の 2 つの体育館がある。

町民体育館は、主に 10 団体が定期的に利用している。小学生が 16 時～18 時、中学生が 17 時～19 時、一般が 20 時～22 時まで活動しているため、だいたい住み分けができています。

その他は、地域のイベントの練習等でスポット的に利用する団体がいるが、団体同士で話し合いをしながら日程調整をしている。

令和 5 年度町民体育館利用団体は延べ 2178 団体、利用者は 19,946 人。多目的運動広場はスポーツ少年団が週 3 日定期的に利用しており、他は学校や公民館、グラウンドゴルフなど 10 団体が定期的に利用している。利用者は年間約 5,000 人。

中学校の部活動で専用して使用できるかの質問だが、町民体育館は現在鷹巣中学校が週 3 回部活動をしている。

今後部活動は地域移行する方向である。部室も中学生専用を整備する話も進めており、社会教育課から話もあったとおり、イベント以外はほとんど学生しか利用していないため部活動で利用できるのではないかと考えている。

- 町民体育館はバレーコートが 3 面できるはずが、仕切ネットがないためボールが飛び交い危険なので早く整備していただきたい。

答 子どものためになる設備なら基金を造ってどんどん整備していきたい。

- なぜなんでも鷹巣ばかりにつくるのか。PTA のアンケート結果は長島高校跡地が多かったと記載してある。町長は町民のトップなのだからもっと町民のことを考えて欲

しい。

選挙の時ばかり「町民の声を行政へ」と言っている。全部旧東町にばかり作っている。旧長島町はなにもない。

答 町長として格差是正を目標として、1 番力を入れたのが平尾地区。県道や町道、ふれあいセンター、また先日開園した平尾保育園等整備している。

○ 「町民の声を」と言っているが、合併してよかったのは旧東町ばかりだ。旧長島町の人たちは税金を払っているだけ。

町長は 20 年、30 年後は人口が減っていくと言っていたが、人がいなくなるのにグラウンドは必要ない。今あるグラウンドを整備すればお金もそこまでかからないはずだ。

答 グラウンドは旧東町時代の悲願だった。東町の頃、15 億円あればグラウンドができるだろうと計算していた。15 億円の半分は国から補助金が出て、残り 7 億 5 千万円のうちの 3 億円を町が負担する事業があった。

このために東町は 5 億円基金を貯めていたため、合併後町民への財政負担はない。

○ 鷹巣中学校になった場合、近い将来建て替えなければならなくなる。

最終的には町長と町議会が決めるなら、鷹巣中学校に決まっている。旧長島町は議員も少ないし、議員の半分以上が川添派。

答 このようなことがあるから指江や平尾の公民館長に、地域の声を届ける議員を出すべきではないか、また何人かにも勧めたが立候補する人がいなかった。

○ 「町民の声を行政へ」と 4 年に 1 回言う。その割に町長と議員の意見だけですべて否決になっている。旧長島町は勝ち目がない。

アンケートでも長島高校跡地の意見の方が多かったならもっと考えて欲しい。

答 平尾ふれあいセンターも用地買収がいらない長島高校跡地も候補に挙がっていたが、地域から遠いため最終的には土地を買収してここに建てた。何とか理解して欲しい。

○ 教育委員会は PTA アンケートの結果から長島高校跡地を候補地としているが、ど

のような考えなのか教えて欲しい。

答 子育てをしている現役 PTA の声を聞きたいことからアンケートを行っているはず。

長島高校跡地は敷地が広いため、学校の中で部活動ができることや駐車場、スクールバスの乗入れがメリットとして上げられる。

長島高校跡地も鷹巣中学校もどちらもメリット、デメリットはある。だからこそ住民説明会を行い幅広い意見を聞いている。

大事なものはアンケートの声。長島高校跡地に関しては、敷地が広く部活動もできること、安全面や費用面で心配であること、子どもたちにとってより良い環境で学ぶことができるために、未来を見据えて考えなければならいことなど様々な意見が出されている。

人口の話がでたが、移住者や地元の子どもたちが長島に帰ってくるために町全体で一緒に考えなければならない。地域の協力もいただきたい。

○ 1つの敷地内で部活動ができるのが学校ではないか。町長は近くに町の施設があるから使えばいいと言っているが、長島高校跡地だとグラウンドもあり、体育館もあり、武道館、プールも敷地内にある。

鷹巣中になった場合、いろいろな場所で部活動をすることになるが、生徒の迎えは保護者がするのか。現在私はスクールバスの運転手をしているが、部活動生を 18 時半に迎えに行くため、帰りつくのが 20 時になることもある。スクールバスで各施設に生徒を迎えに行くことになれば、帰るのは 22 時を過ぎることが考えられる。

答 1 番はこどものためを考えるべきだと思う。そして 2 番目は財政問題。金額が多くなる状況で、いくらでも財政を投入して整備していいのか、またその財政を負担するのは子どもたちであるため、有効利用できるものはできるだけ利用しようというのが私たちの考え。

しっかりとした財政を組んでいないと、財政破綻しかねないため、財政問題については慎重にしなければならないと思う。

私はいつも財政と活力が調和した町じゃないといけないと考えている。

スクールバスについては、仮に 1 億円かかってもバスで各集落まで安全に送り届ける対策を町が責任をもってすべきだと思っている。そのためにも子育て基金 6 億円を作りたい。ふるさと納税でも子育てに協力していただく資金を集める。

バスは町が完全に責任を持つ。町で交通課を設立してスクールバス対策はすべきだと考えている。

スクールバスが出たが、アンケートの中にも部活動後の生徒をどこで待たせるのか安心安全の問題も出ている。学校と地域、保護者で協力をしなければいけない。

全員スクールバスというのはどうなのか。教育的な面からいくと、学校に保護者が迎えに行くことで、学校と保護者にコミュニケーションが生まれるそこも考慮して意見いただきたい。

また、学校は1 km歩く「歩育」の教育もしている。子どもたちに耐性或考える力をつけなければいけない。

教育委員会は、ある一定の基準で子どもたちを歩かせて登校させているが、通学が1人しかいないのにバスに乗せてくれないと意見もある。行政としては、今回の学校統合でスクールバスが充実するのなら、先ほど教育長が説明した1 km以上の生徒はバスに乗せて安全を確保できるように教育委員会にもお願いしたい。お金は少し多くかかることが予想されるが対策をしたい。

- 6Pをみると、その他急を要する施設整備とあるが、人口の予想をみると子どもたちの数も減ってくるため、複式学級が増えると思う。このことから、6億円以上かかってでも、長島高校跡地を整備して小中一貫校を造ってほしい。

鷹巣中学校も耐震工事や増築すると説明があるが、今建っている古い建物は30年後ほどしたら建て替えをしないといけないのではないかと。6億円の基金で中高生に10万円支援したいとの話だが、継続的な支援をしないと基金は減っていくため、将来支援を受けることができない子どもが出てくる可能性がある。

長島高校が平尾に建ったのは、長島の中心だからと聞いたことがある。長島の中心にある長島高校跡地に小中一貫校を建てて欲しい。

答 小中一貫校の話があったが、今ようやく中学校4校が1校に統合再編することと場所を鷹巣中学校か長島高校跡地にするかまで進んでいる。ここに新たに小中一貫校の話を進めると地域の大騒動になってしまう。今回は中学校を1校にすることのみに絞って考えていただきたい。

小学校は地域に見守られている近いところへという思いがある。

中学校に対する1番の思いは、中学生が町で一体となり卒業したいという思いがあること、また高校に進学したときに同じ中学校出身者が少ないため、クラスに馴染むのが難しいことなどが挙げられる。

中学校は4校から1校にするのは、横のつながりを広げるためである。高校に進学しても同じ中学校からの仲間がいることでより一層強い絆が深まることや色々な価値

値観や多様性も生まれる。

アンケートの中には早く中学校統合をしてほしいとの意見があることも伝えておく。

持続的な支援についてだが、6 億円の基金が枯渇しないようにふるさと納税で補足をしていく。できれば1 年間子育て支援に使用するお金をふるさと納税で賄い、基金には手を付けないのが理想。

6 億円で 30 年後程は支援を続けられる予想である。30 年後にはまた新しい政策を掲げる町長が出てきてくれるだろう。せめて 20～30 年ぐらいまでの財政がしっかり保証した方がいいと思う。

- 先ほど部活動の迎えの話があったが、鷹巢中に学校が統合した場合、保護者は兄弟で別々の部活をしている子どもを各施設へ迎えに行かないといけない。また、子どもたちが部活動のためにそれぞれ町の施設に移動する際は、先生方はついてくれるのか。長島高校だと学校で部活動ができるため、迎えも1 つの場所で行える。

6P に記載がある長島高校跡地の総事業費 60 億 2 千万円に解体費 6 億円は入っているのか。入っているならば、解体費 6 億円を強調する必要はないのではないか。

5p 利便性の補足の住宅事情だが、先生たちは学校から離れたところに住みたいと思う。金融機関、お食事処、お買い物、宿泊施設、は子どもたちには関係ないし、図書館は学校に図書室がある。

この資料を見ると、町長が鷹巢中学校に学校統合したいという気持ちがひしひしと伝わってくる。町長は鷹巢中学校一択で心に決めているのではないか。(意見)

- 鷹巢中学校は創立して何年経過しているのか。近いうちに建替え時期が来るのではないか。またアスベストは使用されていないのか。

答 鷹巢中学校は建物ができてから 50 年ほど経過している。

鷹巢中学校の事業費には、80 年 90 年持つようにする長寿命化の耐震工事も計算されている。新築の場合は、国の基準で 60 年ほど持つ計算。学校が経ってから 50 年ほど経過したら長寿命化の工事をして長く建物を活用するのが国の方針。

アスベストについては調査をしないとわからない。

長島高校跡地の総事業費 60 億円に解体費 6 億円が入っていることに関してだが、60 億円のなかでみるとたいしたことないと思われるかもしれないが、町負担の 17 億

円の中の6億円は大きいものだと思う。

- 長島高校跡地にある大きな町章にはいくらかかったのか。

平成26年の学校統合の住民説明会では、高校の解体費は県が出すと聞いた覚えがあるがあの話はどうなったのか。

答 町章がいくらかかったのかは今把握していない。

高校の解体費を県が負担をする話がどこに行ったかは知らないが、前はそういう話だったかもしれないが、議会で否決をされている。

前は町長も長島高校跡地に1校に中学校を統合するため、鷹巣集落の公民館長を説得して議会へ上程した経緯がある。

- 前回議会へ長島高校跡地で上程しているが、その時町長は長島高校跡地が新中学校の場所としてよかったと思っていたのか。

答 あの時は環境が整ってきたことや、体育館等も使用できる状況のため、やむなく教育委員会が判断した長島高校跡地を提案した。

- PTA アンケートは長島高校跡地の方が多かったと聞いたがアンケートで決まらないのか。

答 今回行政側が行った説明等も踏まえてアンケートを取ったのか疑問である。アンケートの内容をみると、年代やどちらが新中学校の場所としてふさわしいかこれくらいの条件でアンケートを取っている。

このアンケートは説明が不足しているように感じる。

- もう1回アンケートを取ったらいいのではないか。

町と町民の喧嘩だから学校統合はもう1度白紙に戻して欲しい。(意見)

- 多目的広場だが、先ほど野球場になると説明があった。野球場にするにはフェンスなどの設備にも費用がかかるがその予算はどうなっているのか。

答 そこは実施設計になると事業費は1億~2億円の誤差が出てくる。今は学校の場所をどこにするか町民に意見をいただく会である。実施設計に入った時に設備の問題は

出てくると思う。そのためにも少しでも余裕がある財源が欲しい。

- 財政問題を言われるが、7Pの説明を聞くとなんとか頑張れるのではないかと思ってしまう。鷹巣にも新しいグラウンドが32億円で作られているが、お金はいい起債や補助金を使ってこれまでも様々な事業をされてきたと思う。

長島高校は昭和47年に設立されて、指江の長島高校本校と旧東町の東分校が7年話し合いをしたのちに合併している。旧町の県境でもあることから、お互い譲り合って場所も選ばれている。

旧長島町の住民は、長島高校は鷹巣に十分譲った、鷹巣に近いところにしたとい気持ちもあることから、また鷹巣にできるのかとどうしても思ってしまう。

行政や政治は住民の理解が大切である。財政面で鷹巣中とばかり言われても、旧長島町の住民は誰も納得しない。住民の意見は真二つである。

PTAのアンケートをみると若干長島高校跡地が多い気がする。しかしどちらにもメリットデメリットがある。町長は強く財政面のことを言うが、お金が大切なことも重々わかっている。

また、鷹巣中学校の下に何年も前から工事している多目的広場があるが、町長は何年も前から鷹巣中学校に学校統合することを決めているのではないかと思ってしまう。多目的広場はいくらかかったのか。最終的に広場を部活動で使用する状態にするにはどのくらいの費用がかかるのか教えて欲しい。この費用は鷹巣中学校に統合した場合の事業費には入っていないと思うが、2つの場所を検討してこれから決めていくにしても、町長の頭の中では3~4年前から鷹巣中学校に統合すると決めているように感じる。

答 総合運動公園に32億円とお話ししていたがそんなに費用はかかっていない。

住民の納得のために住民説明会をしている。最終的に中学校を1つに統合する点では町長部局、教育委員会で合致しており、また、鷹巣中と長島高校跡地どちらも議会へ提案することは、指江、川床の住民説明会でもご理解いただいた。

4つの会場でいただいた意見を総合的に判断して、総合教育会議でどちらの案を議会へ提案するか決定し、提案したのち否決された場合はもう1つの案を提案しようと考えている。

財政面だが、子どものことを1番に考えているつもり。ただ次善の策としてお金も大切である。町政の基本は活力と財政の調和、調和のない財政を無視して政策を進める気持ちはない。

ただ、今回は子どものためであるから、まとまった案でお金がかかろうが推進していくべきだと思う。

多目的広場は、町内のいたるところで災害があった際に災害対策として避難ができ

る場所を探していたところ、今の場所が適地ということで整備を進めている。旧長島町側も同じように探していたが、多目的に利用できる広場は見つからなかった。

私は旧長島町側も多目的広場を整備して災害時、避難住宅を造る等活用すべきだと思っている。

最初から鷹巣中学校に学校統合するつもりで多目的広場を整備したわけではない。

場所がどちらになっても、合併ではなく統合再編だということをわかってほしい。

子どもたちにとって統合再編は、新しい中学校ができる、新たにスタートする意味がある。

議長 議員は町長派など考えていない。みんな思い思いの考えがある。

先週 PTA 連絡協議会に出席したら、議員と語る会をしたいと申し出があったため、開催する方向で進めている。PTA 会長には、各学校で臨時総会を開くなどして、地域の意見をまとめてから語る会に出席して欲しい。議員は多くの意見が聞きたい。PTA 会長の意見だけではなく、各学校 PTA の総意として意見をして欲しい。

最終的に判断するのは議会と町長も再三言っている。議会が判断するには情報が足りない。

議員 若い世代の意見がつかめていない。未就学児の保護者は仕事が終わった時間帯に説明会をしても参加できないことから、ウェブ等を使って意見を聞いてみたい。

7P の説明を聞くと、財政状況は改善されているように思うが、今後 5 年後の計画値を見てみたい。

6P の総事業をみると、鷹巣中学校：総事業費 37 億 8 千万円、町負担 7 億 8 千万円、長島高校跡地：総事業費 60 億 2 千万円、町負担 17 億円だが、逆を考えると、長島高校跡地だと補助金が約 43 億円出してくれるということ。長島高校跡地の方が国や県が多く補助金を出してくれるためいいのではないかと考えることもできる。

財政面については、町長はふるさと納税のことを言っていたが、長島町は 6 億円ほどと聞いたが、全国の自治体でふるさと納税をめぐり争っている状況。

町政、議会、地域が 1 つになってふるさと納税に力を入れて、子どもたちに活用できるような取組をしたい。

もう少しいろいろな意味で判断材料が欲しい。

答 長島高校跡地に建設した場合、40 億円程かかった場合、約 17 億円が補助金、約 14 億円が起債、約 8 億 6,900 万円が町の一般財源から支出することになる。ということ

は、町が返還する起債が 14 億円増えるということをご理解いただきたい。

- 鷹巣中学校に学校統合した場合、現役の鷹巣中学校の生徒はどうなるのか。工事の中授業をするのか。

また、鷹巣中学校が統合して開校した後さらに 3 年かけて学校が完成すると聞いている。その間、せっかく統合した生徒たちも工事の中で授業をしなければいけないのか。それは本当に子どもたちのためになるのか。

先日行われた町 PTA 連絡協議会で町長は「長島町は県内 4 位の所得がある」と発言していたが、県内 4 位なのに新築も建てられないなら近隣市町村に笑われてしまう。ぜひ新築の学校を建てて欲しい。

答 一部工事をしながらになるが、子どもたちに影響がない休日や長期休業の際に行う計画である。工事の規模も全面的なものではなく足りない部分を増築する工事をする予定。安全面には十分考慮するだろう。

- 工事の中子どもたちが授業することを考えたら、長島高校跡地を更地にして新築を建てた方がいい。話が現実的ではない。(意見)

- 先ほど教育長は子どもたちみんなで新しい中学校を造りたいと言っていたが、鷹巣中学校になった場合は、もともとが鷹巣中学校のため、地元の子どもたちと他の地域から通学する子どもたちで格差が生まれる可能性がある。

せっかく中学校を 1 つに再編するなら、全地区同じ条件で真新しい校舎でスタートした方がいい。鷹巣中学校に統合したら鷹巣地区だけ条件が違うのではないか。

答 そういった意味で発言していない。校舎や地域は鷹巣だが、町内から子どもたちが通学するため、各地域で学校運営協議会を開催したりして各地域協力しなければならない。地域を大切にしないといけない。

- 鷹巣中学校に再編すると、地元の子どもたちが自分の中学校という縄張りがあったり、地元の子どもたちが他の地域の子どもたちを受け入れる受け入れないことや地域で上下関係が生まれたりするのではないかというのが保護者は心配。

答 だからこそ地域同士理解し合って協力していくのではないか。

○ 教育長が言っているのは理想論。長島高校跡地に統合してみんな同じ条件でスタートした方がいいのではないか。(意見)

○ この会は町長が鷹巣中学校に統合をお願いする会なのか。それとも意見し合う会なのか。住民説明会が終わった後、町はアンケートを取るのか。

答 今日には多様な意見を聞く場である。場所は決まっていない。

今後のスケジュールは住民説明会が終わったのち、総合教育会議を開く。総合教育会議で決定したことに対してパブリックコメントで住民の意見を募集する。再度総合教育会議を開いてどちらを議会へ上程するか最終判断をする予定。

○ 今の町長の言い方では、指江地区も川床地区も町長の意見に賛成したと言っているように聞こえる。

答 中学校を4校から1校にすること、最終的に提案するのは町長で議決するのは議会だということ、どちらかを提案して否決になった場合はもう1つの案を提案することをほかの地区ではご理解いただいた。

○ 町長と議会が決めるのであれば、最初からアンケートは必要なかったのではないか。

答 アンケートや会議等の意見も踏まえ、町長部局と教育委員会でどちらを提案するか話し合い、決まったものに対してさらにパブリックコメントで住民の意見を参考にした上でどちらかを上程し、議会に判断してもらう。提案したものが否決ならば、もう1つの案をすぐ上程し再度議会にかける手続きを理解していただいた。

○ 町長と議会が決めるのであれば、町長の意見しか通らないということではないか。
町民の9割が長島高校跡地に賛成でも、1割の町長の意見が通り9割の町民の意見は無視するということになる。(意見)

○ 町長の資料をみると、お食事処や買い物ができる場所の多さを比較しているが、子どもは関係ないため提示されても困る。(意見)

○ 決めるのが町長と議会ならば、住民の意見を聞く必要はないのではないか。

答 4 地区の住民説明会でいただいた意見を踏まえて総合教育会議でどちらを議会へ提案するか決定する。そうしないと前に進まないため理解していただきたい。

○ 次の町長、町議選挙で、それぞれ鷹巣中学校か長島高校跡地か掲げて住民に投票してもらい決めたらいいのではないか。焦って学校をつくる必要はない。

答 仮に選挙で公約を掲げて住民投票をするのは賛成ではない。
各地区で住民説明会をして、きめ細やかに住民の意見を聞いて総合的に判断したい。

議員 子どものためにどういう教育をするかが大切。

学校設置基準をみると、「校舎及び運動場は、同一の敷地内又は隣接する位置に設けるものとする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上及び安全上支障がない場合は、その他の適当な位置にこれを設けることができる。」と記載がある。

また、行政側は中学校を1つに統合再編するという意見であるが、どのような教育をするかが抜けている。

今は学校に行かなくてもオンライン教育ができる。学校を1つにしても各地域の校舎で学ぶこともできる。

現在バスの運転手は減少している。まずは交通網を整備するべき。オンライン教育ならスクールバスも運転手も必要ない。

子どもたちが長島の学校を卒業してよかったと思えるような学校を造らなければならないため、場所を争うのではなく、みんなが集まるような学校にしたい。

○ 鷹巣中学校にアスベストが使われていた場合、事業費も変わってくるだろう。また鷹巣中学校に統合すると、子どもたちがいる中工事をするのでとても危険。

答 鷹巣中学校に統合する場合もアスベストの調査を行う。どちらになってももう1度設計をし直すため期間も変わってくると思う。鷹巣中学校、長島高校どちらにもアスベストは使われているだろうと業者は言っている。

○ 本日町PTAで現地視察をしたが、長島高校跡地が敷地も広くていいのではないかという意見があった。長島高校跡地の場合、学校のグラウンドで野球、サッカー、陸上ができると思う。

鷹巣中学校の場合、部活動生は学校が終わった後、車の通りが多い歩道を歩いて各施設に行くと考えられるが、安全性はどうか。

答 鷹巣中学校は、現在も町のプールや行事で多目的運動場を利用している。今まで移動中等に事故やケガの報告はないため、十分安全という認識である。

○ 町長は財政のことばかりいうが、今の子どもたちが大きくなり、長島で働いて税金等を納めてくれると思う。20～30年後は今の子どもたちにお世話になるため、「借金」ではなく「投資」だと考えればどうか。前回の議事録に「子供の教育のためには投資を惜しむな」と書いてありその通りだと思う。

平尾地区としても長島高校跡地にお願いしたい。

答 「子供の教育のためには投資を惜しむな」というのは十分わかる。ただ、財政を考えない町づくりは財政破綻になりかねない。町長としては、活力と財政の調和を図りながら町づくりはするべきと考えている。また心がけているつもり。

○ 鷹巣中学校に統合する場合、現在建設中の多目的広場を活用すると説明があったが、あそこは最初町職員の駐車場、また、今町職員が駐車場として利用しているところはテニスコートができると聞いていた。

この先も駐車場が多目的広場変わったように、町長と議会の権限で建設する施設が簡単に変更されるのではないかと心配である。

答 多目的広場は最初から災害時の避難場所、公共事業をしたときにでる捨土を置く場所として計画していた。

町職員の駐車場とは聞いていない。多目的に使用できるため、イベント時駐車場として活用できることから話が出たのではないかと。

テニスコートについては、総合運動公園を計画した際、近くに駐車場がないことから、施設の整備を検討する委員会で駐車場をあそこに設置することを決めた。

○ 町長は町のトップのはずなのに、最初から鷹巣中学校に統合したい気持ちがすごく伝わってくる。もっとフラットに長島町のことを思い、子どもたちのことを思い、住民の意見を聞いていますという姿勢でいてほしい。もっと意見を聞いて欲しい。(意見)

- 最終的に議員が判断するのなら、全部の住民説明会に議員は来て意見を聞くべき。
- 学校統合は、どちらの場所になっても多額の税金が使われるため、住民投票はできないのか。額が大きければ大きいほど、町長と議会だけで決めていいのか疑問である。
(意見)
- 鷹巣中学校に統合が決定した場合、アスベストがあっても鷹巣中に建てることになる。どちらか決める前に鷹巣中学校のアスベスト調査はするのか。

答 鷹巣中学校は既存の建物に手は付けず、不足する教室を新しく増築になるため、アスベストは関係ない。

この改修は、大規模改修ではなく壁の改修になると思う。アスベストは天井のため、鷹巣中学校の場合、教室の中の改修はしないため予算が抑えられている。

今から設計になるため、設計の段階で増築等しなければならなくなった場合にアスベストの調査をするつもりで計画に入っていると思う。